

## 体験を通した学び

6 学年担任

6年生は11月後半から12月にかけて、ゲストティーチャーをお招きして様々な体験教室を行いました。

### ○鯛飯作り

久保田弘道先生を講師にお招きして、3ヶ月後に控える卒業を記念して、鯛飯作り体験を行いました。昆布で取った出汁に調味料で味付けをした鯛飯はとても美味しく、普段魚が苦手な児童も進んで食べている姿が見られました。自分たちで作るからこそ味わえる美味しさを実感しました。また、食材に感謝すると共に、普段食事を使ってくれる家族やお店の人への思いも高めることができました。



### ○華道教室

木村翠芳先生を講師にお招きして華道教室を行いました。「自分の思いをありのままに表現すればよい」というご指導の下、児童一人一人が作品作りに取り組みました。子供達の取り組みをありのままに受け入れて、称賛して下さる先生のあたたかさに触れながら、子供達も初めての体験に楽しんで取り組みました。子供達の作品に対して、先生が一言だけ助言をなさったり手入れをして下さることで、作品がとてもよく場面があり、歓声が沸いていました。

### ○陶芸教室

陶芸教室は高橋和則様・高橋隼哉様のお二人を講師の先生にお招きして、実施しました。まずはじめに、陶芸の作り方を実演してくださいました。何も手を加えられていない粘土の塊が、見る見るうちに器の形へ変化させていく職人さんの技術に、子供達は息をのむのも忘れて見入っていました。その後、自分たちで実際に体験してみて、改めて職人さんの技術の高さを実感していました。焼き上がった器を使って、2月には茶道教室が予定されています。こちらも楽しみです。



## ○冬の体調管理について○

養護教諭

今シーズンのインフルエンザは、異例の9月から大流行し、9月～12月までの感染者数はのべ189人となりました。中には2回感染した人もおり、感染力の強さに驚かされました。昨年からの新型コロナウイルス感染症の5類移行になり、マスク着用についても個人の考えで良いことになりましたが、やはり予防や咳エチケットとしてのマスク着用や手洗い・うがいなどは大切なことだと実感しました。さて、空気の乾燥や寒さはこれから本格的になってきます。空気が乾燥すると、インフルエンザウイルスなどはより活発になります。そして乾燥した空気中を長時間漂い、鼻や喉から体内に侵入し感染します。今までの新型コロナウイルス感染症の対策で心がけてきた「手洗い、うがい、マスクの着用」に加えて、「加湿」することも予防に効果的です。引き続き感染予防対策を十分に行い、この冬を健康に過ごして欲しいです。

